



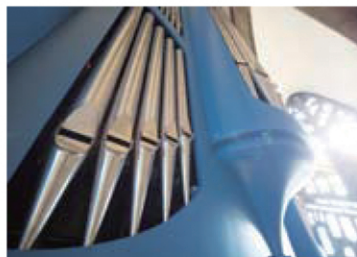
立教学院聖パウロ礼拝堂の新パイプオルガンが完成しました



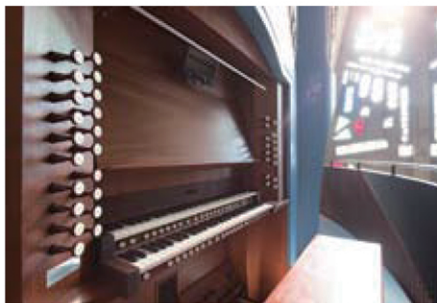
立教学院聖パウロ礼拝堂（新座チャペル）に米国Fisk（フィスク）社製のパイプオルガンが完成しました。

このパイプオルガンは、フランスロマン派様式のオルガンで2段の鍵盤、多数の8フィート・ストップと低音ストップを備えています。その性能を最大限に生かすため、チャペル入口の上に新しく作られた台座の上に設置しており、大空間の新座チャペル全体に力強い音色が響き渡ります。礼拝などで聖歌をリードするのに理想的であることに加え、コンサートなどでは素晴らしいソロ・オルガンを聴かせてくれることでしょう。

これで、池袋・新座の両チャペルのパイプオルガンリニューアルは完了し、残すは、池袋チャペルで使われていたベックラートオルガンをチャペル会館（池袋キャンパス）へ移転するのみとなりました。進捗状況は、パイプオルガンリニューアルサイトでお知らせします。



パイプ



コンソール（演奏台）部分